令和８年度　７月定例会会議録

◎開 催 日 時　　令和８年７月３０日（木）　午後３時３０分～午後４時５５分
◎場　　所　　高遠町総合支所　会議室
◎出 席 委 員　　福與教育長、宮坂教育長職務代理者、黒河内教育委員、中村教育委員、神山教育委員
◎欠 席 委 員　　なし
◎出 席 職 員　　北原教育次長、北原学校教育課長、矢澤教育環境整備課長、柴生涯学習課長、
北澤市誌編さん室長、塚越社会教育指導員、髙嶋指導主事、小島指導主事、
北原こども部長、澁谷こども政策課長、宮下子育てサポート課長
牧田教育総務係長

１　開　　会

２　あいさつ　教育長
・今月の定例教育委員会は、会場を高遠とし、教育委員会関係施設の見学も兼ねて開催した。高遠町図書館では古文書に関する特色ある取組が行われており、委員に視察いただいた。
・7月 25 日をもって市内全小中学校が夏季休業に入り、子どもたちは家庭で長期休業を過ごしている。普段できない体験や家族とのふれあいの機会となる一方で、全ての子どもにとって必ずしも楽しみな期間とは限らないことも踏まえ、見守っていく必要がある。
・夏季休業中は、公民館等を会場とした小・中学生対象の「おいで塾」をはじめ、中学生の自習室、ICT サマーキャンプ、キャリフェス実行委員会など、教育委員会としての取組が予定されており、引き続きしっかり進めていきたい。
・各学校では、伊那小学校の修学旅行先での演奏活動、伊那西小学校の熊に関する学習、高遠中学校のサキドリ研究校として授業時数の柔軟化を活用した探究的な学び、西箕輪小中学校の小中連携による英語交流授業など、特色ある取組が進められている。こうした学校の取組を、保護者や地域にも分かるように発信していくことが大切である。
・また、「おいで塾」を視察し、地域の協力を得ながら、異なる年齢の子どもたちが学び合い、多様な体験をしている様子を見て、大変貴重な場であると感じた。子どもたちが１学期の学びを終え、夏休みを通じて力を蓄え、２学期に元気に戻ってくることを願っている。

３　委員のひと言　黒河内教育委員

４　会議事項
第１　教育長報告
・６月 28 日に、来春の春の高校伊那駅伝男子 50 回大会に向けた記念事業の第１回として、市陸上競技場周辺を会場にスポーツに関するトークショーやスポーツ教室を開催し、雨天の中でも多くの参加があった。
・７月５日には、春の高校伊那駅伝に関するイベントの第２弾として、長野東高校や佐久長聖高校の監督等を招いた講演会が開催された。駅伝を通じた人間力の育成や、自ら考える力の大切さについて話があり、改めてそれが必要だと感じた。
・７月３日に、市誌第３冊目となる概要編『伊那市を鳥瞰してみよう』が刊行された。
・７月６日に開催された都市教育長会議では、給食費の在り方、喫食する児童生徒への対応、オーガニック給食と保護者負担軽減の関係などについて、各市との情報交換や県教育委員会への質問・要望等を行った。
・7月 21 日に伊那市医師会役員との懇談会があり、学校医として児童生徒の健康保持に尽力いただいていることへの感謝を伝えるとともに、子宮頸がんワクチンや就学前健診の今後の在り方

などについて意見交換を行った。
・7月22日には、上伊那総合技術新校懇話会に出席した。新校の設計図をもとに、教室配置や動線等についてワークショップ形式で意見交換が行われ、生徒からも具体的な意見が出された。
・7月23日には、県教育委員会との懇談会に教育長職務代理者とともに出席し、今後の学校の在り方等についてグループ懇談を行った。
・7月24日には、総合学力調査の活用研修があり、調査結果の分析方法や授業へどう活かしていくかについて研修を行うとともに、ミライシードの活用についても研修を行った。児童生徒一人ひとりに必要な力を確実に届けることの重要性を、改めて教職員に伝えた。

第２　議案
（１）伊那市美術館協議会委員の委嘱について
・生涯学習課長から資料に基づき説明
・質問、意見はなく、原案どおり決議された。

（２）伊那市博物館協議会委員の委嘱について
・生涯学習課長から資料に基づき説明
・教育委員から、委員の業務内容及び会議の開催頻度について質問があり、生涯学習課長から、会議は基本的に年１回開催しており、必要に応じて企画展の内容や資料に関する確認を依頼する場合がある旨の説明があった。
・また、教育委員から「美術館協議会も年１回程度の開催であれば博物館協議会と一体化できるのではないか」との意見があり、生涯学習課長から「高遠町時代からの経過や原田コレクションの管理に関する事情もあるが、今後の検討課題としたい」旨の回答があった。
・教育長から、一本化が可能であれば検討するよう発言があった。
・原案どおり決議された。

（３）伊那市美術館条例施行規則の一部を改正する規則
・生涯学習課長から資料に基づき説明
・質問、意見はなく、原案どおり決議された。

第３　報告事項
（１）教育活動におけるICT機器の活用について
・教育環境整備課長から資料に基づき説明
・教育委員から「資料の内容は理解できるが、情報化委員会でICT活用を進めている教員にも同様の考え方で、特に低学年での使用に一定の配慮を求めていく趣旨なのか」との質問があり、教育環境整備課長から「本資料の考え方は教育委員会としての基本的な考え方であり、情報化委員会においてもこの考え方に基づいて情報化ビジョン等を検討している」旨の説明があった。
・また、教育委員から「この資料が新たな方針として示されたものか」との質問があり、教育環境整備課長から「昨年来整理を進めてきたものであり、昨年から今年にかけてまとめた現時点での考え方を示す資料である」旨の説明があった。
・教育委員から「情報化委員会に対してもこの考え方がしっかり伝わるようにしてほしい」との意見があり、教育長から「低学年におけるICT機器の活用については、学校現場でも発達段階に応じた使い方を意識して取り組んできており、その考え方を改めて整理して共有していくことが大切であるため、情報化委員会とも調整や意見交換を行ってほしい」旨の発言があった。
・別の教育委員から「この資料は教育委員会としての共通理解のためのものであり、学校や保

護者も含めて共有していくための資料と理解してよいか」との質問があり、教育環境整備課長から「そのように位置付けており、学校や保護者にも同じ考え方で示していきたい」旨の説明があった。
・また、教育委員から「保護者には『特に低学年にはこれまで ICT 活用を進め過ぎたため見直す』と受け取られる可能性がある」との意見があり、教育長から「学校現場ではこれまでも低学年において書くことや実際に触れることを大切にしながら発達段階に応じた活用を行ってきており、その姿勢を改めて整理して示すことが重要である」旨の発言があった。

（２）令和８年度　二十歳のつどい計画について
・生涯学習課長から資料に基づき説明
・教育委員から「式の中の記念映像とは何か」との質問があり、生涯学習課長から「中学校卒業までにケーブルテレビで撮りためた映像等を活用し、参加者が懐かしさを感じるとともに、伊那市に帰りたいと思える内容にする予定である」旨の説明があった。

（３）人権同和教育事業について
・社会教育指導員から資料に基づき説明
（質問・意見なし）

（４）市誌編さん事業の進捗状況について
・市誌編さん室長から資料に基づき説明
（質問・意見なし）

（５）来月以降の文化施設の行事日程について
・生涯学習課長から資料に基づき説明
（質問・意見なし）

（６）共催・後援について
・学校教育課長から資料に基づき説明
（質問・意見なし）

５　その他
（１）次回定例会について
（２）９月以降の主な行事予定について

６　閉　会